

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成27年2月12日 NO.33

七小わくわく発表会

2月7日（土）、昨年度まで『七小フェスタ』という名称で実施してきましたが、今年度より活動内容から『七小わくわく発表会』と名を改めて行いました。

当日は約500名の地域・保護者の参観を頂き誠にありがとうございました。子ども達もこの日のために一生懸命にまとめ、発表練習に取り組んできました。

1・2年生は、生活科の学習の取り組みがよくわかるものであり、共に様々な物を作成する喜びを感じさせてくれました。また、いろいろな昔遊びの活動を通して、一緒に楽しく過ごすことの大切さを実感させてくれました。

3～6年生は、総合的な学習の成果を丁寧によくまとめ、発達段階にふさわしく見ごたえのあるもので、とても感心しました。特に、先生方は、第七小学校の研究内容である国語科の『聞く・話す』の領域での指導も踏まえ、児童に対して原稿をただ読むだけでなく、聞き手にわかりやすく話すためにはどのように工夫すればよいか等も助言してきました。今回のような発表の機会を今後の授業でも多く設定していき、児童の表現力の向上にも努めていきたいと考えています。

ご多用の中、ご参観頂き大変ありがとうございました。配布済みのアンケートなどに、ご意見・ご感想を頂ければ幸いです。よろしくお願ひいたします。



見守り会意見交換会

2月10日（火）、午後6時より『見守り会意見交換会』が、地域の方・保護者・国立市教育委員会・教職員等、40名程の方々のご出席を頂き開催されました。まず、見守り会会長の横戸様や事務局長より、暑い日も寒い日も献身的に見守り活動に参加されている方々への感謝の言葉がありました。次に国立市教育委員会指導主事の荒西岳広先生より、「七小の見守り会の取り組みは、国立市でも特記すべき貴重な取り組みであり、市行政や街づくりの観点からもとても意義深いもので、今後も引き続きご尽力していただきたい」とのお話がありました。その後、地域ごとに別れ、これまでの取り組みの成果や課題について種々様々な意見の交換が行われました。今後、集約し次年度へ向けての参考にしていきたいと考えております。分科会は、お汁粉を飲みながら終始和やかない雰囲気で行われ散会いたしました。ご参加して頂いた地域の方々・保護者の皆様どうもありがとうございました。

